

君津中央病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名	SARS-CoV-2 ワクチン投与後の血液腫瘍患者における抗体獲得率の検索（倫理委員会承認番号：623）
当院の研究責任者 （所属）	血液内科 細木 卓明
他の研究機関及び 各施設の研究責任者	亀田総合病院 末永 孝生 患寿金沢病院 山下 剛史 金沢大学病院 高松 博幸
本研究の目的	血液悪性腫瘍を罹患している患者は原病およびその治療薬の影響で免疫低下が起きている。COVID-19 の原因ウイルスである SARS-CoV-2 に対するワクチン投与が最近始まっている。しかし、血液悪性腫瘍患者に対してワクチン投与を行った後、抗体獲得ができていかどうかは不明である。この研究では SARS-CoV-2 ワクチン投与後の血液悪性腫瘍患者に対して抗体獲得ができていかどうかを確認するために行う。血液悪性腫瘍患者がワクチン投与後に十分な抗体価を獲得できているか検討するために、血液悪性腫瘍以外の患者と比較する。 抗体獲得ができていかどうかは COVID-19 罹患の際に重症化の予防・死亡率の低下と関連するため重要である。
調査データの 該当期間	2021 年 3 月 1 日～2021 年 12 月 31 日
研究の方法 （対象となる方）	研究の手順：通常診療で必要な採血の残余検体からコロナワクチン投与後のコロナ抗体価を検査する。カルテレビューを行い、個人が特定されない形でカルテから情報を収集し、統計学的処理を行う。

	対象者：SARS-CoV-2 ワクチン投与された亀田総合病院血液悪性腫瘍内科/消化器内科、亀田総合病院維持透析患者、金沢大学病院血液内科、恵寿金沢病院血液内科、君津中央病院血液内科へ通院中の患者
研究の方法 (使用する情報)	<p>観察項目、調査項目、検査項目とその実施時期：ワクチン投与前・1回目投与 14-21 日目・2 回目投与 14-56 日目の合計 3 回のデータ、副反応、抗体獲得、COVID-19 罹患歴など</p> <p>使用する試料：通常診療の中で採取された検体の残余検体</p> <p>使用する情報：年齢、性別、現病歴、既往歴、合併症、体重、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度、身長、赤血球数、白血球数、リンパ球数、ヘモグロビン、血小板数、総蛋白、アルブミン、総ビリルビン、M 蛋白、Free light chain、IgG、IgA、IgM、SARS-CoV-2-抗 S 抗体、SARS-CoV-2-抗 N 抗体、COVID-19 感染</p>
資料・情報の他機関 への提供	あり
個人情報の取扱い	<p>対応表を作成し、個人を直ちには識別できないように匿名化を行う。</p> <p>(方法：個人を識別できる情報を削除し、独自の研究用の記号を付すとともに対応表を作成する。)</p>
本研究の資金源 (利益相反)	なし
お問い合わせ先	<p>国保直営総合病院君津中央病院</p> <p>血液内科 細木卓明 0438-36-1071</p>
備考	